

令和5年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

令和5年度事業報告目次

1	総括概要	2
---	------	---

2 サービス区分報告

<社会福祉事業>

法人運営事業及び決算額	3
地域福祉活動事業及び決算額	6
福祉サービス利用援助事業及び決算額	13
法人後見事業及び決算額	14
共同募金配分金事業及び決算額	15
社会福祉基金事業及び決算額	17
資金貸付事業及び決算額	18
生活福祉資金貸付事業及び決算額	18
地域福祉ネットワーク事業及び決算額	19
外出支援サービス事業及び決算額	20
配食サービス事業及び決算額	21
居宅介護支援事業及び決算額	21
老人福祉センター管理運営事業及び決算額	22

<公益事業>

地域包括支援センター事業及び決算額	23
生活支援体制整備事業及び決算額	25
デマンド交通運営事業及び決算額	27

<その他>

日本赤十字社活動と共同募金活動	27
その他の支援活動	28

令和5年度 事業報告

【総括概要】

令和3年度に町と相互に地域福祉の推進を図るため一体的に策定した『第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』においては、町、町社会福祉協議会及び町民の協働により計画を推進するため、推進委員会の設置や地域ふくし座談会、地域支え合い会議を開催しました。引き続き、各種事業の進捗状況の把握、計画の評価、見直し等における様々な意見をもとに今後も施策や事業に取り組んでまいります。

自然災害が多発する中、昨年7月大雨・突風により、町内においては家屋の破壊や倒木など甚大な被害を受け、本会では、約2週間にわたり『野木町災害ボランティアセンター』を設置・運営しました。運営に際しては、近隣の社会福祉協議会職員や町内外のボランティアの協力のもと瓦の片付けやがれき撤去、家財の搬出等被災者依頼に対応しました。

また、近隣の社会福祉協議会が相互に応援しあう体制を築くことが重要であることから、令和4年度より古河市、結城市、小山市の社会福祉協議会との定期的情報共有の経過のもと、今年1月『県境4市町社会福祉協議会災害時相互応援協定』を締結しました。今後も相互の協力関係を継続し、より効果的な支援ができるよう災害ボランティアセンターの体制や運営基盤づくりの環境を整えていきます。

新型コロナウイルス特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）については、償還開始に合わせて継続的な相談対応を可能にするため、事業担当職員を配置し、償還が困難な方等を対象に償還猶予などの相談支援体制を強化しました。次年度以降も、相談体制を整え、緊急的かつ一時的に生計維持が困難になった方に対しては、生活困窮者自立相談員と連携を図りながら、食糧等の現物給付などを行い問題解決に取り組んでまいります。

介護保険事業においては、効果的・効率的な事業運営に努め、利用者やその家族、関係者等との協働のもと、円滑な相談や支援につながる取り組みや利用者本位の良質な介護サービスの提供に努めました。令和6年度介護報酬改定では、現行の地域包括支援センターに加え、居宅介護支援事業者も市町村からの指定により、介護予防支援事業の実施が可能になることから、指定に向けて準備をすすめました。また、公的サービスでは対応できないニーズについては、既存の住民参加型在宅福祉サービス事業「ふれあいサービス」の見直し・拡充を図りつつ、住民同士の助け合いによって、お互いに支え合う地域づくりを目指していきます。

今後とも、高齢者・障がい者を含め誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現に向け、関係者並びに関係機関と連携しながら地域福祉活動を推進してまいります。

■法人運営事業及び決算額

【47,800千円[38,888千円]】

1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡調整を図り、適正な法人運営を推進した。

また、社会福祉法改正により、組織経営におけるガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

2 主要な施策

(1) 理事会・評議員会・監査会・評議員選任・解任委員会の実施

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

①理事会の開催（業務執行の決定、理事の職務執行の監督他）

第1回理事会（令和5年5月29日開催）		出席者：理事8名、監事2名
議案	第1号	令和4年度野木町社会福祉協議会事業報告及び決算（計算関係書類、財産目録）の承認について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員（理事・監事）の候補者の選定について
	第3号	野木町社会福祉協議会評議員の一部候補者の推薦について
	第4号	令和5年度第1回野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
	第5号	令和5年度野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について

第2回理事会（令和5年6月16日開催）		出席者：理事9名、監事2名
議案	第1号	野木町社会福祉協議会長及び副会長の選定について
	第2号	野木町社会福祉協議会規程の一部改正について

第3回理事会（令和5年9月6日開催）		出席者：理事7名
議案	第1号	野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について
	第2号	野木町社会福祉協議会苦情解決の第三者委員の選任について
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況について
	第3号	ふくしのつどいのぎ2023の開催について

第4回理事会（令和6年3月21日開催）		出席者：理事8名、監事1名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務執行状況の報告について
議案	第1号	令和5年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	令和6年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和6年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第4号	野木町社会福祉協議会規程の一部改正について
	第5号	野木町社会福祉協議会における苦情解決の第三者委員の選任について
	第6号	令和5年度第2回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

定時評議員会（令和5年6月16日開催）		出席者：評議員15名、監事2名
議案	第1号	令和4年度野木町社会福祉協議会事業報告及び決算（計算関係書類、財産目録）の承認について
	第2号	野木町社会福祉協議会役員（理事・監事）の選任について

第2回評議員会（令和6年3月29日開催）		出席者：評議員16名
議案	第1号	令和5年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	令和6年度野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	令和6年度野木町社会福祉協議会会計収支予算について

③監査会の開催（理事の職務執行の監査、業務及び財産の状況に係る監査）

監査会（令和5年5月19日開催）		出席者：監事2名
内容	令和4年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（令和5年6月16日開催）		出席者：委員3名
議事	野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

(2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。
町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	R3実績	R4実績	R5実績	R3実績	R4実績	R5実績
特別会員	32	26	28	37,000	31,000	31,500
普通会員	6,036	5,921	5,845	3,018,100	2,961,000	2,923,000
寄付	438	444	387	129,540	129,637	115,900
その他会員		2	1		2,150	1,000
賛助会員	39	41	27	198,000	210,000	140,000
合計	6,545	6,434	6,288	3,382,640	3,333,787	3,211,400

(3) 広報活動

様々な媒体を活用し積極的な広報活動を行った。

・社協情報誌『ぽけっと』…年4回（4月・6月・10月・1月）発刊

号数	発行日	記事内容
137号	4月27日	令和5年度事業計画・予算、地域ふくし座談会（新橋区）、えんじゅクラブ通信、老人福祉センター生きがい講座のお知らせ、おれんじカフェ、赤十字運動月間のお知らせ、日常生活自立支援事業「あすてらすのぎ」、地域ふくし・思いやりプロジェクト、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
138号	6月22日	令和4年度事業報告・決算、えんじゅクラブ通信（南赤塚北部寿会）、みつけた！地域のつながり⑤、おれんじカフェ、令和5年度野木町社会福祉ボランティア連絡協議会全体会・全体研修会、ボランティアチャレンジスクールの募集、Oneday ボランティアスクールの募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
139号	10月26日	令和5年度日本赤十字社会員募集実績報告、おれんじカフェ、野木町災害ボランティアセンター報告、ボランティアチャレンジスクール報告、Oneday ボランティアスクール報告、えんじゅクラブ通信（丸東・朋友クラブ）、地域ふくし座談会（丸林西区）、みつけた！地域のつながり⑥、ボランティア募集、ひとり暮らし高齢者交流会参加者の募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
140号	1月25日	令和5年度野木町社会福祉協議会会員募集実績報告、令和5年度赤い羽根共同募金実績報告、ふくしのつどいのぎ2023報告、県境四市町社会福祉協議会災害時相互支援協定締結式、おれんじカフェ、みつけた！地域のつながり⑦、えんじゅクラブ通信、「地域ささえ手」ボランティア養成講座募集、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他

・ホームページ…年間公開

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
アクセス件数（件）	3,074	3,748	6,864

(4) 福祉サービスの運営適正

苦情解決に関する規程に基づき、本会が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、第三者委員や苦情受付担当者を配置した。

第三者委員構成	人権擁護委員1・民生委員児童委員1・学識経験者1
苦情受付数	0件

(5) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を深めるとともにボランティア活動への参加や支援が円滑に行われるよう育成・援助を行った。

2 主要な施策

(1) 第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

令和3年度策定した『第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』に基づき、行政と連携のもと計画を推進するため、地域ふくし座談会（丸林西区）を開催するとともに、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況の把握と評価のため意見交換を行った。今後は、地域支え合い会議等を実施し、地域に住んでいる方たちが自分たちにできることなどを話し合い、次期計画への見直し・改善等を行っていく。

①野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会

開催日	内容	参加者数(名)
3月4日	・野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要について ・野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況と今後の取組について	9

②地域ふくし座談会

開催日	内容	参加者数(名)
9月16日 (丸林西区)	・第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・コミュニティコーピング体験 講師 ソーシャルワーク事務所そえしあ 松本 佑司氏 ・ふくしの課題・問題点(困っているところなど)について意見交換	24



コミュニティコーピング(超高齢社会体験ゲーム)

人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消する協力型のゲーム

プレイヤー同士が協力し、孤立する人の本当の悩みを引き出して、専門家や地域の人たちにつなげていくことで「解決」を目指すというストーリーを体験する内容

(2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害時において、感染症拡大予防対策も含めたボランティア活動が円滑に行われるよう、資機材の整備など防災力の向上に努めた。また、7月10日大雨・突風により、町内においては家屋の破壊や倒木など甚大な被害を受けたことから、本会では、野木町との協定に基づき、野木町災害ボランティアセンターを設置・運営し、ボランティアの協力のもと被災された方々の生活復旧を支援した。

①野木町災害ボランティアセンターを設置・運営

・災害ボランティアセンター活動実績

ニーズ受付数（新規、継続、再依頼を含む）	37 件
支援完了（活動外にて終了を含む）	37 件
災害ボランティア受付延べ人数	19 名
災害ボランティア活動延べ人数	137 名 ※職員や近隣社協応援職員も含む

・運営・活動協力

栃木県社会福祉協議会、小山市社会福祉協議会、栃木市社会福祉協議会、佐野市社会福祉協議会、結城市社会福祉協議会、古河市社会福祉協議会、おやま防災、とちぎ災害ボランティア団体 YAMBE 他



②災害ボランティアセンター設置・運営シミュレーション訓練

開催日	内容	参加者数(名)
1月27日	ロールプレイ 「集中豪雨による浸水被害」 「野木町役場直下型地震」 講師（アドバイザー） 小山市社会福祉協議会 地域福祉係 主任・社会福祉士 町田 拓也 氏	23



③災害発生時における近隣4市町社協協力体制の構築

古河市、結城市、小山市及び野木町の社会福祉協議会の管内において災害が発生した際に、広域だけでなく近隣の協力体制が重要であることから、災害時の相互応援を目的に協定を締結した。今後も相互の協力関係を継続し、より効果的な支援ができるように努めていく。

日時	内容
1月15日	「県境四市町社会福祉協議会災害時相互応援協定」締結 古河市社会福祉協議会、結城市社会福祉協議会 小山市社会福祉協議会、野木町社会福祉協議会



	<p>○協定書の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応援職員の派遣 ・ 災害救援活動に必要な備品、資材及び機材の提供及び斡旋 ・ 災害救助活動を行うために必要な情報収集 ・ 災害ボランティアセンターの運営支援
--	--



(3) 社会福祉等のボランティア活動支援

① ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町ボランティア支援センター「きらり館」と連携を図りながら、社会福祉関係等のボランティア活動が円滑に活動できるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数 (件)			加入者数 (名)		
	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績
ボランティア活動保険	11	14	11	505	521	497
ボランティア行事用保険	3	11	14	167	1,220	1,541
福祉サービス総合補償	5	4	6	90	85	145
送迎サービス補償	1	1	1	8	8	8
合 計	20	30	32	770	1,834	2,191

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数 (件)	R3 実績	R4 実績	R5 実績
		2	1

(整備機材一覧)

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	スピーチオ (活字文書読上装置)	点字トランプ・UNO
パソコン	デイジー (CD 読み取り機)	音声電卓
点字板	高齢者疑似体験装着具	鈴入りサッカーボール
点字プリンター	まなび体 (片マヒ疑似体験具)	車いす
MD/CD ラジカセ	アイマスク・白杖 (視覚障害体験具)	移動式段差解消用スロープ
録音機 (テープ式)	体験用点字ブロック	プロジェクター・スクリーン
録音用 (集積) マイク	視覚障害体験グラス	アンプスピーカー

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体（サークル）・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。

開催日	内 容
4月15日	全体会・全体研修会
11月16日	V連委員視察研修会（栃木県立盲学校他）
定例会の開催（第2木曜日／年7回開催） 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成（委員14名）され全体会・全体研修会、委員研修会等について意見交換を行った。	



全体研修会

高齢者が地域で安心して生活していくために

講師：野木町地域包括支援センター

主任介護支援専門員・生活支援コーディネーター

社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年度3月31日現在）

	R3実績	R4実績	R5実績
団体数（団体）	11	11	11
個人ボランティア数（名）	53	53	48

（ボランティア団体）

No.	名 称	活動内容
1	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
2	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験含）への参加協力
3	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌他をCDに録音し、視覚障がい者等に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業への参加協力、施設での読み聞かせ活動
4	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力
5	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への協力・研修等
6	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力
7	野木ひまわり	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力
8	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 のぎコスモス	
9	YOSAKOI 桜	
10	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動

11	のぎまちづくり ネットワーク	野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動
----	-------------------	--

(ボランティア団体以外の活動一覧)

No.	名 称	活動内容
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」の配達に協力し、ひとり暮らし等高齢者宅に昼食のお弁当を届け、安否確認や交流を図る活動
2	福祉・介護施設等でのボランティア活動	町内の福祉・介護施設などで利用されている方々の趣味活動支援やお話し等交流を行う活動
3	事業協力活動 ハンディキャップ体験 学習支援活動	各種福祉関係事業への協力、町内小中学校やサマー スクールでのハンディキャップ体験指導活動

・初心者向け手話講座

講師 小山市聴覚障害者協会

開催日	内 容	受講者数 (名)
9月29日	名前を覚えましょう 指文字を覚えましょう	4
10月6日	趣味などを覚えましょう	3
11月10日	ミニ講義「障がい者の生活」・復習	3
11月24日	住所・交通方法を覚えましょう	3
12月1日	会話・まとめ	3

・初心者向け朗読講座

講師 朗読の会「のぎく」

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月18日	朗読のための呼吸法 発声・発音	3
10月25日	声に出して読んでみよう	3
11月1日	表現力をつけよう	2
11月15日	表現力 ステップアップ	3
11月22日	伝わる読み方	3

・初心者向け点訳講座

講師 点友会「のぎ」

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月3日	視覚障がい者への接し方	1
10月10日	点字の書き方、点字の読み方	1
10月24日	パソコンで文章を打つ、文章を印刷する	1

・傾聴ボランティア養成講座

講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢氏

開催日	内 容	受講者数 (名)
10月 3日	・傾聴に関する講義	9
10月 10日	「傾聴は敬聴なり」「傾聴のスキル」	7
10月 17日	「バリデーション」「想定書簡法」	7
10月 31日	「感性を磨く」	9
11月 7日	・演習「ロールプレイング」	9
11月 14日	・傾聴活動の現状について	9

③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。また、福祉・ボランティア活動への理解や関心を深めていく取り組みとして、町内の各小中学校生徒を対象に、体験学習や交流活動をはじめとしたボランティア講座を開催した。

・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校（全7校）
実施した主な活動内容	アルミ缶回収／古紙回収／緑の募金／ペットボトルキャップ回収／手話・点字の学習／ハンディキャップ体験／クリーン活動／ふれあい活動／伝承あそび／その他

・福祉教育推進連絡会議の開催(年3回)

開催日	内 容	出席者数 (名)
6月 19日	・令和5年度事業計画について ・各学校における福祉教育の計画について	10
11月 20日	・地域福祉新聞について	9
1月 26日	講義「傾聴とは敬聴なり 傾聴とは素直に、謙虚に聴くこと！」 講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢 氏 ・地域福祉新聞（校正）について	8

・地域福祉新聞（小中学生版）の発刊(共同募金配分金事業)

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内 容
2月 20日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・福祉セミナー

・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
6月23日	車いす・アイマスク体験学習支援（4年）	友沼小学校
7月4日	手話・点字体験学習支援（4年）	友沼小学校
9月9日	ハンディキャップ体験学習支援 パラスポーツ（ボッチャ体験） 点字体験学習支援	野木第二中学校
9月13日	車いす体験学習支援（4年）	新橋小学校
9月19日	手話・点字体験学習支援（4年）	新橋小学校
10月26日	福祉講座（人権教育職員研修会） 「聴覚障がいの方の生活」	南赤塚小学校
12月4日	手話・点字・車いす体験学習支援（全校児童）	佐川野小学校
12月12日	ハンディキャップ体験学習支援（4年）	野木小学校

・ボランティアチャレンジスクールの開催

【協力】公益財団法人東日本盲導犬協会 他

開催日	内 容	受講者数（名）
8月19日	・親子で学ぶ！もうどう犬のおしごと	17
8月22日	・ふれあいサロン交流体験 ・ハンディキャップ体験	4



(4) 在宅福祉活動

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数（件）	R3 実績	R4 実績	R5 実績
	30	58	70

(5) フードドライブ事業の実施

生活困窮者に対し生活改善につながる相談支援や福祉サービスにつなげるため、家庭・企業で余った食品を回収し、町フードバンク等へ提供等を行うことによりその生活を支援した。

件数（件）	R3 実績	R4 実績	R5 実績
			30

※令和4年4月よりフードドライブ事業実施

(6) 緊急食料等給付事業の実施

低所得者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、生活に必要な食料等の現物を給付することにより、世帯の自立更生を促し、社会の一員として円滑な社会生活が送れるよう支援した。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
件数 (件)	0	4	0

(7) 一時お預かりサービス事業の実施

高齢・障がい等により一時的に金銭管理ができない方に対して金銭管理を行い、安心して生活ができるように支援した。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
件数 (件)	0	1	4

(8) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会 (えんじゅクラブ野木)	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいづくりの場の推進を図った。
野木町社会福祉ボランティア 連絡協議会 (団体・個人含)	活動者相互の交流や情報交換の場の提供などボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時高齢者生活支援講習など地域における奉仕活動の推進を図る活動を行った。

(9) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
件数 (件)	2	3	0

■福祉サービス利用援助事業及び決算額

【1,243 千円[1,274 千円]】

1 事業の概要

高齢・障がい等により判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行った。

【実施したサービス内容】

福祉サービス利用援助：福祉サービスに関する情報提供や相談、利用の申し込み等
日常的な金銭管理サービス：日常生活上の生活費の管理、支払い代行、生活費のお届け等
書類等預かりサービス：預貯金通帳・印鑑、年金証書・保険証書等の預かり等

【専門員数】 登録者 2 名

【生活支援員数】 登録者 8 名（実サービス提供担当者 2 名）

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
利用者実人数（名）	13	16	20
提供回数（回）	178	258	335
相談援助件数（件）		409	650
契約件数（件）		5	8
解約件数（件）		3	4

※R4 年度より基幹的（小山市）社協方式から全市町社協実施方式へ転換

■法人後見事業及び決算額

【314 千円[328 千円]】

1 事業の概要

認知症、知的障がい、精神障がいなど判断能力が不十分な方に対し、本会が法人として後見業務を行える体制を整えた。

2 主要な施策

(1) 法人後見運営委員会

成年後見人経験者等の専門家で構成する法人後見運営委員会を設置し、適正な後見事業を行える体制を整えた。また、司法書士による成年後見に関する個別相談会や権利擁護あんしんサポートブックを作成し成年後見制度のPR活動をした。

・法人後見受任状況

類 型	R3 実績	R4 実績	R5 実績
後 見	1	0	0
保 佐	0	0	0
補 助	0	0	0
合 計	1	0	0

・類型終了件数

類 型	R3 実績	R4 実績	R5 実績
後 見	1	1	0
合 計	1	1	0

【司法書士による成年後見に関する個別相談会】

類 型	R3 実績	R4 実績	R5 実績
開所回数（回）			1
相談件数（件）			2

1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

2 主要な施策

(1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰をした。また、社協情報誌『ぼけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。

・ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数(名)	場所
10月21日	◎式典 （表彰者） ・社会福祉団体等の役員 1名 ・ボランティア活動功労（個人） 7名 ・ボランティア活動功労（団体） 1団体 （感謝状） 4団体 ◎ステージイベント ◎健康・福祉コーナー ◎子供向けコーナー ◎作品展示 ◎飲食販売	600	町老人福祉センター（ホープ館）



・地域福祉新聞…年1回（2月）発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月20日	友沼小学校	・チューリップ球根植え ・4年福祉体験 ・人権集会

	野木小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・アイマスク体験 ・車いす体験 ・高齢者疑似体験 ・こもれびの舎の訪問を通して
	佐川野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人権集会「福祉体験」 (1・2年 手話体験) (3・4年 点字体験) (5・6年 車いす体験)
	南赤塚小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人権週間 ・総合的な学習の時間(認知症サポーター養成講座、車いす体験、アイマスク体験)
	新橋小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・総合「心のバリアフリー」 (車椅子体験、手話・点字体験、アイマスク体験)
	野木中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・募金活動 ・アルミ缶・古紙回収 ・ふくしのつどいのぎ2023ボランティア活動 ・人権講話
	野木第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしのつどいのぎ2023ボランティア活動 ・ビックアート ・人権講話
		<ul style="list-style-type: none"> ・手話サークル「虹の会」、点字会「のぎ」、朗読の会「のぎく」 ・共に学び、共に育む：福祉セミナー ・地域福祉新聞とは

(2) 高齢者の社会参加

町内在住75歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に交流会を開催し、当事者同士の交流を通して孤独の緩和化を図るとともに生きがいづくりをすすめた。

開催日	場所	参加者数・内容等
12月6日	町老人福祉センター (ホープ館)	24名 <ul style="list-style-type: none"> ・「ハーモニカ演奏と楽しい話」 山中 詔八氏 ・「フレイル予防運動」 地域包括支援センター職員



(3) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が季節行事やレクリエーションを通しての交流を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10月19日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業 (芋ほり)	法得幼稚園児 老人クラブ会員 30名	川田地域
10月27日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 20名	野木幼稚園

(4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

(5) 地域（子ども）ふくし・思いやりプロジェクト

生活困窮者や子育て世帯に対し、町内各団体やボランティアの協力のもと食事や寄贈されたお米を提供し生活を支援した。

開催日	内容	来場者数(名)	場所
5月15日～	お米配布会	100	町老人福祉センター (ホープ館)
3月25日	カレーライス弁当配布	74	友沼小学校
		41	佐川野小学校



■ 社会福祉基金事業及び決算額

【561千円[504千円]】

1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

・ 善意の寄付受入について（基金指定）

預託内容	R3 実績	R4 実績	R5 実績
寄付件数 (件)	9	8	8
寄付金額 (円)	348,919	503,042	559,915

■資金貸付事業及び決算額

【153千円 [416千円]】

1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	R3実績	R4実績	R5実績
貸付件数（件）	7	41	21
償還件数（件）	20	26	35

資金の種類・貸付件数（件）	R3実績	R4実績	R5実績
生活一時資金	4	8	11
医療・介護一時資金	0	0	4
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	3	33	6
合計	7	41	21

■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【6,616千円[869千円]】

1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。また、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者に対する生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）は令和4年9月末に終了し、令和5年1月から償還が開始されたが、償還免除を行った方や償還免除に至らないが償還が困難な方等を対象に償還猶予などの相談支援体制を強化した。

	R3実績	R4実績	R5実績
相談件数（件）	97	188	36

資金の種類・貸付件数（件）	R3実績	R4実績	R5実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金（福祉費）	0	1	1
福祉資金（緊急小口資金）	0	0	0

教育支援資金	0	0	1
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
緊急小口資金コロナ特例貸付	30	14	
総合支援資金コロナ特例貸付	22	10	
総合支援資金コロナ特例貸付(延長)	4	0	
総合支援資金コロナ特例貸付(再貸付)	15	0	
合計	71	25	2

※生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金、総合支援資金）はR4.9末に終了

・フォローアップ支援状況

件数（件）	R3 実績	R4 実績	R5 実績
電話（受電）			18
電話（架電）			66
訪問			4
来所による窓口対応			67
償還免除申請			3
償還猶予申請			7
その他のフォローアップ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活状況アンケート実施（7月） ・生活状況アンケート（未回答者）実施（10月） ・生活状況アンケート（滞納者）実施（10月） <p>現在の生活や仕事状況を把握するとともに生活に困っている方に対しては寄付された乾麺やインスタント食品、お米の入った応援ボックスを配布した。</p>		

■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【9,219千円 [8,741千円]】

1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

2 主要な施策

(1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談内容	相談員
心配ごと相談	毎月第1水曜日 10:00-12:00	日頃の悩みなど 日常生活について	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員

法律（弁護士）相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	財産・扶養・土地・金 銭貸借・賠償・離婚な どの問題に関する相談	弁護士
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	ボランティア保険の加 入や社会福祉支援活動 に関する相談	社協職員
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	生活資金や日常金銭管 理に関する相談	社協職員
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談	地域包括支援センター職員

【心配ごと相談】

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
開所回数（回）	9	12	12
相談件数（件）	2	1	1

【法律相談】

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
開所回数（回）	12	12	12
相談件数（件）	42	44	47

【介護相談】

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
相談件数（件）	275	285	342

・相談員研修会の開催について

町心配ごと相談員・あすてらす支援員合同研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
1月26日	研修 相手も自分も大切にする「傾聴」 講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢 氏	8

■外出支援サービス事業及び決算額

【200千円[273千円]】

1 事業の概要

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
利用者実人数（名）	6	10	8
移送回数（回）	41	66	49

■配食サービス事業及び決算額

【1,583千円 [1,660千円]】

1 事業の概要

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により毎日の調理が困難な方に対し、お弁当の宅配（毎月4回 金曜日）を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食協力者（ボランティア）人数】 33名

	R3実績	R4実績	R5実績
利用者実人数（名）	59	58	65
配食数（食）	1,881	2,162	2,014

■居宅介護支援事業及び決算額

【29,379千円 [22,888千円]】

1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要支援・要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、利用者・家族の抱えている複雑な課題等に対して適切な相談支援を行い、より良質なサービスが受けられるようケアマネジメントを実施した。

【介護支援専門員数】 5名

・居宅サービス計画（ケアプラン）作成

	R3実績	R4実績	R5実績
作成件数（件）	1,061	1,212	1,368

要介護度	R3実績	R4実績	R5実績
要支援1			154
要支援2			143
要介護1	384	433	437
要介護2	300	307	306
要介護3	161	181	137
要介護4	151	221	142
要介護5	65	70	49
合計（件）	1,061	1,212	1,368

・要介護認定調査

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
調査件数 (件)	0	2	3

■老人福祉センター管理運営事業及び決算額

【15,306千円 [16,047千円]】

1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

2 主要な施策

(1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいつくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
開所日数 (日)	225	338	337
利用者総数 (名)	6,560	14,931	17,951

※老人福祉センター利用者数等別表による。(P 29 参照)

(2) 講座等の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康維持・増進と文化教養の向上を図るため各種講座を行った。

・生きがい講座 (令和5年6月～12月)

講座名	開講回数 (回)	受講者実人数 (名)		
		男	女	計
やさしいヨガ講座	12	0	15	15
若さを保つ貯筋運動	24	0	14	14
初心者向けパソコン講座	14	1	4	5
フラワーアレンジメント教室	7	1	6	7
合計	57	2	39	41

(3) 第18回老人ペタンク大会・第43回老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5月24日	ペタンク	97	丸林中央公園 グラウンド
9月26日	輪投げ グラウンドゴルフ	140	あじさい公園 グラウンド

■地域包括支援センター事業及び決算額

【64,000千円[56,906千円]】

1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制作りに努めた。

2 主要な施策

(1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】 9名

社会福祉士	2名
保健師・看護師	3名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
総合相談	275	285	342
認知症相談	44	56	78
権利擁護相談	13	4	12
虐待相談	8	3	16
介護認定申請等	97	94	106
福祉用具住宅改修理由書作成	30	31	29
関係機関への連絡・調整等	3,575	4,255	4,075
緊急通報装置	13	22	18
見守りキーホルダー	8	6	16
その他	200	166	109
件数（件）	4,263	4,922	4,801

※その他については、安否確認、緊急通報装置の確認、見守りキーホルダーの更新確認等

②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行った。

③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内 容	参加者数 (名)
5月16日	講話「成年後見制度について」 講師 法律事務所 栞 弁護士・社会福祉士 石田 弘太郎 氏	26
8月18日	講話「生活困窮者の自立支援について」 ～生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の概要～ 講師 栃木県 保健福祉部 保健福祉課 生活保護担当 副主幹 粕谷 洋 氏	26
11月24日	講話「困った人は困っている人」 ～トラウマインフォームドケア～ 講師 アウル社会福祉事務所 公認心理士・社会福祉士・主任ケアマネジャー 中島 真理 氏	24
2月16日	情報交換会 ・令和6年度指定介護予防支援について ・在宅医療の体制整備について 説明者 野木町健康福祉課高齢対策係職員	26

④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
作成件数 (件)	3,217	3,765	4,092

⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

高齢者を中心とした地域の支え合い（互助）への取り組みに向け、町及び関係機関との連携のもと、町における介護予防・日常生活支援総合事業で要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援をした。

1 事業の概要

地域包括ケアシステムの構築に向け、介護保険の地域支援事業の実施にあたり、生活支援コーディネーターを中心に協議体の運営を行った。また、地域の生活支援・介護予防サービス等を担う事業主体と連携しながら、生活支援・介護予防サービスの充実を図るとともに、地域の支え合いの体制づくりを推進した。

2 主要な施策

(1) 生活支援コーディネーター（第1層・第2層）の設置

地域のニーズ把握や地域のサービス主体との連携調整等のコーディネーター機能を担うため生活支援コーディネーターを2名配置した。

(2) 協議体の設置

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、定期的な情報共有・連携強化の場として協議体を設置した。

第1回野木町生活支援体制整備事業「第1層協議体」会議 (令和5年10月4日開催)		出席者数(名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度・5年度（前期）生活支援体制整備事業活動経過実績について ・重点活動の概要と実施状況について ・地域ふくしづくりのこれからについて ・情報交換 	11

(3) 地域支え合い会議の開催

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的に、各地域の住民同士や関係団体が情報共有やアイデア出しを行うことで、地域の人々がつながり、活躍できるきっかけの場として支え合い会議を開催した。

開催日	内容	参加者数(名)
8月26日 (新橋区)	テーマ 地域であった「ちょっといい話(こと)」 今、地域で行われている「支え合い活動」(地域活動)のこと	17
2月28日 (丸林西区)	テーマ 地域であった「ちょっといい話(こと)」 今、地域で行われている「支え合い活動」(地域活動)のこと(地域の宝物さがし)	15

(4) ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業の拡充

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは対応できないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
登録利用会員数（名）	46	63	76
登録協力会員数（名）	17	30	34
活動件数（件）	35	150	209

	R3 実績	R4 実績	R5 実績
生活空間の掃除及び整理整頓	5	51	89
生活必需品等の買い物	1	17	27
話し相手	0	0	30
身の回りの世話	0	0	1
散歩、施設等への付き添い	0	14	9
家具、家電の移動	0	1	5
その他（ごみ捨て等）	29	67	48
活動件数（件）	35	150	209

※令和4年6月よりサービス内容の見直し

(5) 主な活動

視察及び研修会への出席	先進地の視察や県・県社協研修会へ参加することにより、生活支援体制整備事業の運営や生活支援コーディネーターの役割と活動内容の情報収集を行った。
会議等への出席	地域における高齢者の生活支援体制整備を進めるために、関係する機関が実施する各種会議等に参加した。
地域活動への支援	高齢者を支える活動を行なう団体等の支援を行った。
高齢者への個別生活支援	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等で、福祉や介護サービス利用の対象にならないなどの課題について、各関係機関との連携を図りながら相談や支援を行った。
啓発活動	事業の周知・理解のための広報活動や説明会を開催した。

・地域支援活動の担い手育成講座の開催

地域において高齢者を支える担い手の発掘・育成のための講座を開催した。

開催日	内容	受講者数（名）
3月5日	講話「住民主体の地域づくりと支え合い」 ～高齢者の社会参加と地域貢献～ 講師 NPO 法人 風の詩 理事長（社会福祉士） 永島 徹 氏 活動事例紹介 野木町の福祉ボランティア活動事例	28

■デマンド交通運営事業及び決算額

【20,728千円[19,952千円]】

1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市）
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時30分（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く
備考	○小学生単独乗車（R4.1月末から実施） 【利用条件】1. 必ず保護者から利用予約をすること 2. 保護者の責任において利用すること ○キラ輪号連絡ヘルプカードの利用（R4.2月末から実施） ※予約時など電話連絡が難しいと感じる方が携帯し、キラ輪号へ電話する際に周囲の人をお願いをするためのカード ○午後4時30分便増便（R4.10月から変更）

※デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P30参照）

■日本赤十字社活動と共同募金活動

(1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤会員増強運動の実施（5月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（5月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	R3実績	R4実績	R5実績	R3実績	R4実績	R5実績
会 員	7	11	7	14,000	22,000	14,000
協力会員 （寄 付）	6,557	6,550	6,386	3,163,028	3,152,618	3,086,847
合 計	6,564	6,561	6,393	3,177,028	3,174,618	3,100,847

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数（件）	金額（円）
ウクライナ人道危機救援金	4	63,823
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	1	10,000
能登半島地震災害義援金（募金箱含む）	4	172,086

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

①赤い羽根共同募金運動の実施（10月）

②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績（運動月間10月）

募金種別	協力数			金額（円）		
	R3実績	R4実績	R5実績	R3実績	R4実績	R5実績
世帯募金	6,517世帯	6,492世帯	6,236世帯	2,575,730	2,561,985	2,487,473
街頭募金		1ヶ所	1ヶ所		20,368	36,230
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	9,602	12,084	9,604
法人募金	24社	24社	21社	127,005	126,840	109,952
設置募金箱	9ヶ所	9ヶ所	9ヶ所	7,636	7,467	6,031
個人募金	1件		1件	4,841		500
自販機募金	3台	2ヶ所	2ヶ所	55,159	38,735	37,854
利 息				6	5	5
合 計				2,779,979	2,767,484	2,687,649

・災害等による被災地への義援金（ふくしのつどい模擬店売上）

	件数（件）	金額（円）
令和5年台風13号災害義援金	1	156,450

■その他の支援活動（リサイクル関連）

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援（ワクチン還元）
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

令和5年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書（令和5年4月～令和6年3月）

	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)						1日平均 利用者数 (人)	利用団体数 (団体)
						町内者			町外者				
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数		
令和5年4月	25	1,216	1,196	20	800	16	1	14	3	0	2	49	143
令和5年5月	28	1,281	1,245	36	0	15	0	15	21	0	21	46	144
令和5年6月	30	1,611	1,600	11	0	8	0	8	3	0	3	54	179
令和5年7月	30	1,392	1,353	39	300	14	10	24	15	0	14	46	160
令和5年8月	30	1,284	1,251	33	500	12	12	23	9	0	8	43	141
令和5年9月	28	1,693	1,652	41	1,000	2	33	33	6	0	4	60	168
令和5年10月	27	1,540	1,515	25	300	0	0	0	25	0	24	57	169
令和5年11月	28	1,619	1,583	36	0	0	0	0	36	0	36	58	183
令和5年12月	28	1,582	1,491	91	300	71	0	71	20	0	19	57	174
令和6年1月	27	1,495	1,480	15	600	6	0	6	9	0	7	55	167
令和6年2月	26	1,453	1,433	20	800	16	0	12	4	0	4	56	172
令和6年3月	30	1,785	1,698	87	3,700	52	20	64	15	0	8	60	195
合計	337	17,951	17,497	454	8,300	212	76	270	166	0	150	53	1,995

* 上記有料利用者数の内訳には減免の為免除されている人数を含んでいません。

—野木町デマンド交通利用状況報告書—

1 登録者・利用者実人数(地区別・男女別)(平成21年度～令和5年度)

区分	友沼	松原	新橋	野木	野渡	南赤塚	中谷	丸林東	丸林西	潤島	若林	佐川野	川田	フレシオン	町外	合計
登録者数	68	132	209	76	53	93	11	188	131	87	30	48	27	11	42	1,206
	110	230	337	112	85	129	24	303	193	137	45	87	48	14	94	1,948
合計	178	362	546	188	138	222	35	491	324	224	75	135	75	25	136	3,154
利用者数	28	77	115	39	31	48	5	104	71	32	20	23	11	5	6	615
	68	152	236	78	68	87	16	218	145	100	38	61	35	11	21	1,334
合計	96	229	351	117	99	135	21	322	216	132	58	84	46	16	27	1,949
利用率	41.2	58.3	55.0	51.3	58.5	51.6	45.5	55.3	54.2	36.8	66.7	47.9	40.7	45.5	51.0	51.0
	61.8	66.1	70.0	69.6	80.0	67.4	66.7	71.9	75.1	73.0	84.4	70.1	72.9	78.6	22.3	68.5
合計	53.9	63.3	64.3	62.2	71.7	60.8	60.0	65.6	66.7	58.9	77.3	62.2	61.3	64.0	19.9	61.8

運行日数	3,451
利用者数	123,090
平均/1日	35.7
登録者数	3,154

更新日: R6.3.13	(デマンド)
更新日: H30.3.30	(町)
登録者: 死亡者数	504
登録者: 転出者数	150
登録者: その他(登録抹消等)	10

登録世帯数	2,261
-------	-------

2 月別利用者数・登録者数(令和5年度)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240
利用者数	851	841	863	853	919	897	892	784	857	694	749	824	10,024
平均/1日	42.6	42.1	39.2	42.7	48.4	44.9	42.5	39.2	42.9	36.5	39.4	41.2	41.8
登録者数	17	19	10	19	18	20	18	11	18	8	17	26	201
シルバーカード持込者数	58	48	32	40	47	48	42	35	53	42	32	37	514
免許返納者数	5	5	4	2	3	4	1	5	3	1	9	42	42
無料券利用者数(200円)	45	28	31	29	32	33	39	45	72	39	40	40	473
無料券利用者数(300円)	12	7	1	5	6	5	6	4	4	4	5	6	65
小学生単独乗車人数	2	2	1	1	1	4	12	3	2	2	4	8	37
ヘルプカード	1	3	3	3	3	1	1	1	1	1	4	8	11
利用世帯数													537

